

地球温暖化対策実施状況報告書

平成 27 年 7 月 1 日

香川県知事 殿

報告者

住所 高松市サンポート 2-1

氏名 株式会社 NTTドコモ

四国支社長

広門 治

印

香川県生活環境の保全に関する条例第94条第5項の規定により、地球温暖化対策計画に記載した事項の実施状況について、次のとおり報告します。

事業者の主たる業種	37 通信業
事業者の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 香川県生活環境の保全に関する条例施行規則第64条第1号に該当する事業者 <input type="checkbox"/> 香川県生活環境の保全に関する条例施行規則第64条第2号に該当する事業者
事業の概要	移動通信事業に関するサービス提供を行っており、県内3か所に施設と基地局を保有
事業所の名称及び所在地	別紙のとおり
地球温暖化対策計画に記載した事項の実施状況	様式2のとおり
実施状況の公表予定年月日	平成 27 年 7 月 31 日
実施状況の公表の方法	インターネットの利用により公表する。
連絡先	担当部署 ドコモCS四国 総務部 共通業務支援センター CSR担当 担当者 新谷 直子（ニイヤ ナオコ） 電話番号 087(832)2450 FAX番号 087(832)2335 電子メールアドレス niiya@nttdocomo.com

- 備考 1 用紙の大きさは、日本工業規格A列4番とすること。
2 氏名の記載を自署で行う場合は、押印を省略することができる。

事業所の名称及び所在地

No.	名称	所在地	種類
① 第一種エネルギー管理指定工場等及び第二種エネルギー管理指定工場等			
1	ドコモ四国ビル	高松市天神前9-1	第二種
2			***
3			***
4			***
5			***
② その他の事業所			
6	サンポートビジネススクエア	高松市サンポート2-1	
7	錦町ビル	高松市錦町2-4-8	
8	その他基地局各所		
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			
33			
34			
35			
36			
37			
38			
39			
40			
41			
42			
43			
44			
45			
46			
47			
48			
49			
50			
51			
52			
53			
54			
55			

地球温暖化対策計画に記載した事項の実施状況

実施期間		平成 26 年度					
温室効果ガスの排出の抑制等のために実施した措置の内容		1. 従業員に対する地球温暖化防止に関する研修の実施 環境一般研修：全社員web研修実施 環境の核となるスタッフへの研修実施 2. 事務所内の駐車場にアイドリングストップに関する看板の継続設置					
温室効果ガスの排出の抑制の量の削減実績	温室効果ガスの吸収等	区 分			実施年度 (平成 26 年度)		
					二酸化炭素換算 (t)		
		<input type="checkbox"/> 森林の整備等			t-CO ₂		
		<input type="checkbox"/> 経済的手法の活用			t-CO ₂		
		グリーン電力証書の購入			t-CO ₂		
		グリーン熱証書の購入			t-CO ₂		
		オフセット・クレジットの購入			t-CO ₂		
		国内クレジットの購入			t-CO ₂		
	J-クレジットの購入			t-CO ₂			
	合 計			① t-CO ₂			
温室効果ガスの排出の抑制	区 分	基準年度 (平成 25 年度)	目標年度 (平成 28 年度)	対基準 年度比 (%)	実施年度 (平成 26 年度)	対基準 年度比 (%)	
	温室効果ガス 排出量	(二酸化炭素換算 (t))② 13,581 t-CO ₂	(二酸化炭素換算 (t)) 14,951 t-CO ₂	110.1	(二酸化炭素換算 (t))③ 11,874 t-CO ₂	87.4	
	<input checked="" type="checkbox"/> 差引排出量 A	(二酸化炭素換算 (t))② 13,581 t-CO ₂	(二酸化炭素換算 (t)) 14,951 t-CO ₂	110.1	(二酸化炭素換算 (t))③-① 11,874 t-CO ₂	87.4	
	<input type="checkbox"/> 原単位排出量 A/B						
	温室効果ガス排 出量と密接な関 係を持つ値 B						
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ドコモの森森林整備活動を実施 (5/24 22名参加) ・NTTグループ峰山クリーン大作戦 峰山公園の整備作業参加 (5/10 64名参加) ・屋島クリーン大作戦への参加 (3/8 16名参加) 						
備考	四国ビルでの昼夜電力の数値が把握できるようになり、削減となったことが大きかった。また、使用量についても、事務室内の電力は社員へ使用量を定期的に周知を行うことで前年度以下を達成している。						

(注)

- 「基準年度」欄及び「目標年度」欄には、地球温暖化対策計画書（当該計画書を変更した場合にあっては、変更後の地球温暖化対策計画書）に記入した数値を転記すること。
- 「温室効果ガスの吸収等」欄については、これらの措置を実施したときは該当する□にレ印を記入し、「二酸化炭素換算 (t)」欄に値を記入すること。
- 「特記事項」欄には、「温室効果ガスの排出の抑制等のために実施した措置の内容」欄に記入したもののほか、地球温暖化の防止のために取り組んだこと等を記入すること。
- 「備考」欄については、実施年度の数値が基準年度の数値よりも増加した理由（計画期間の最終年度に係る報告にあっては、削減目標が達成できなかった理由を含む。）を記入すること。

【別表 2】

(平成 26 年度)

事業所名 株式会社 NTTドコモ ドコモ四国ビル

エネルギーの種類		エネルギー使用量			販売されたエネルギーの量			H=E-G (GJ)	二酸化炭素排出量 (t-CO ₂)
		数値 D	単位	熱量(GJ) E=D×C	数値 F	単位	熱量(GJ) G=F×C		
燃料	原油 (コンデンセートを除く)		kl			kl			
	原油のうちコンデンセート (NGL)		kl			kl			
	揮発油 (ガソリン)		kl			kl			
	ナフサ		kl			kl			
	灯油		kl			kl			
	軽油	0.651	kl	25		kl	25	1.7	
	A重油		kl			kl			
	B・C重油		kl			kl			
	石油アスファルト		t			t			
	石油コークス		t			t			
	石油ガス	液化石油ガス (LPG)		t			t		
		石油系炭化水素ガス		千m ³			千m ³		
	可燃性天然ガス	液化天然ガス (LNG)		t			t		
		その他可燃性天然ガス		千m ³			千m ³		
	石炭	原料炭		t			t		
		一般炭		t			t		
		無煙炭		t			t		
	石炭コークス		t			t			
	コールタール		t			t			
	コークス炉ガス		千m ³			千m ³			
高炉ガス		千m ³			千m ³				
転炉ガス		千m ³			千m ³				
都市ガス		千m ³			千m ³				
その他の燃料									
小計 ①								1.7	
熱	産業用蒸気		GJ			GJ			
	産業用以外の蒸気		GJ			GJ			
	温水		GJ			GJ			
	冷水		GJ			GJ			
	小計 ②								
エネルギーの種類		数値 D	単位		数値 F	単位	H=D-F (千kWh)	二酸化炭素排出量 (t-CO ₂)	
電気	一般電気事業者	昼間買電	3330	千kWh		千kWh	3,330	2,327.7	
		夜間買電	2156	千kWh		千kWh	2,156	1,507.0	
	その他	上記以外の買電		千kWh		千kWh			
		自家発電		千kWh		千kWh			
小計 ③								3,834.7	
合計 (t-CO ₂) ④=①+②+③								3,836.4	

一般電気事業者： 四国電力

【別表 2】

(平成 26 年度)

錦町ビル

エネルギーの種類		エネルギー使用量			販売されたエネルギーの量			H=E-G (GJ)	二酸化炭素排出量 (t-CO ₂)
		数値 D	単位	熱量(GJ) E=D×C	数値 F	単位	熱量(GJ) G=F×C		
燃料	原油 (コンデンセートを除く)		kl			kl			
	原油のうちコンデンセート (NGL)		kl			kl			
	揮発油 (ガソリン)		kl			kl			
	ナフサ		kl			kl			
	灯油		kl			kl			
	軽油	0.39	kl	15		kl	15	1.0	
	A重油		kl			kl			
	B・C重油		kl			kl			
	石油アスファルト		t			t			
	石油コークス		t			t			
	石油ガス	液化石油ガス (LPG)		t			t		
		石油系炭化水素ガス		千m ³			千m ³		
	可燃性天然ガス	液化天然ガス (LNG)		t			t		
		その他可燃性天然ガス		千m ³			千m ³		
	石炭	原料炭		t			t		
		一般炭		t			t		
		無煙炭		t			t		
	石炭コークス		t			t			
	コールタール		t			t			
	コークス炉ガス		千m ³			千m ³			
高炉ガス		千m ³			千m ³				
転炉ガス		千m ³			千m ³				
都市ガス		千m ³			千m ³				
その他の燃料									
小計 ①								1.0	
熱	産業用蒸気		GJ			GJ			
	産業用以外の蒸気		GJ			GJ			
	温水		GJ			GJ			
	冷水		GJ			GJ			
	小計 ②								
エネルギーの種類		数値 D	単位		数値 F	単位	H=D-F (千kWh)	二酸化炭素排出量 (t-CO ₂)	
電気	一般電気事業者	昼間買電	905	千kWh		千kWh	905	632.6	
		夜間買電		千kWh		千kWh			
	その他	上記以外の買電		千kWh		千kWh			
		自家発電		千kWh		千kWh			
小計 ③								632.6	
合計 (t-CO ₂) ④=①+②+③								633.6	

一般電気事業者： 四国電力

【別表 2】

(平成 26 年度)

サンポートビル

エネルギーの種類		エネルギー使用量			販売されたエネルギーの量			H=E-G (GJ)	二酸化炭素排出量 (t-CO ₂)
		数値 D	単位	熱量(GJ) E=D×C	数値 F	単位	熱量(GJ) G=F×C		
燃料	原油 (コンデンセートを除く)		kl			kl			
	原油のうちコンデンセート (NGL)		kl			kl			
	揮発油 (ガソリン)		kl			kl			
	ナフサ		kl			kl			
	灯油		kl			kl			
	軽油		kl			kl			
	A重油		kl			kl			
	B・C重油		kl			kl			
	石油アスファルト		t			t			
	石油コークス		t			t			
	石油ガス	液化石油ガス (LPG)		t			t		
		石油系炭化水素ガス		千m ³			千m ³		
	可燃性天然ガス	液化天然ガス (LNG)		t			t		
		その他可燃性天然ガス		千m ³			千m ³		
	石炭	原料炭		t			t		
		一般炭		t			t		
		無煙炭		t			t		
	石炭コークス		t			t			
	コールタール		t			t			
	コークス炉ガス		千m ³			千m ³			
高炉ガス		千m ³			千m ³				
転炉ガス		千m ³			千m ³				
都市ガス		千m ³			千m ³				
その他の燃料									
小計 ①									
熱	産業用蒸気		GJ			GJ			
	産業用以外の蒸気		GJ			GJ			
	温水		GJ			GJ			
	冷水		GJ			GJ			
小計 ②									
エネルギーの種類		数値 D	単位		数値 F	単位	H=D-F (千kWh)	二酸化炭素排出量 (t-CO ₂)	
電気	一般電気事業者	昼間買電	177	千kWh		千kWh	177	123.7	
		夜間買電		千kWh		千kWh			
	その他	上記以外の買電		千kWh		千kWh			
		自家発電		千kWh		千kWh			
小計 ③									
合計 (t-CO ₂) ④=①+②+③								123.7	

一般電気事業者： 四国電力

【別表 2】

(平成 26 年度)

その他基地局等

エネルギーの種類		エネルギー使用量			販売されたエネルギーの量			H=E-G (GJ)	二酸化炭素排出量 (t-CO ₂)
		数値 D	単位	熱量(GJ) E=D×C	数値 F	単位	熱量(GJ) G=F×C		
燃料	原油 (コンデンセートを除く)		kl			kl			
	原油のうちコンデンセート(NGL)		kl			kl			
	揮発油 (ガソリン)		kl			kl			
	ナフサ		kl			kl			
	灯油		kl			kl			
	軽油	0.27	kl	10		kl		10	0.7
	A重油		kl			kl			
	B・C重油		kl			kl			
	石油アスファルト		t			t			
	石油コークス		t			t			
	石油ガス	液化石油ガス(LPG)		t			t		
		石油系炭化水素ガス		千m ³			千m ³		
	可燃性天然ガス	液化天然ガス(LNG)		t			t		
		その他可燃性天然ガス		千m ³			千m ³		
	石炭	原料炭		t			t		
		一般炭		t			t		
		無煙炭		t			t		
	石炭コークス		t			t			
	コールタール		t			t			
	コークス炉ガス		千m ³			千m ³			
	高炉ガス		千m ³			千m ³			
	転炉ガス		千m ³			千m ³			
	都市ガス		千m ³			千m ³			
その他の燃料									
小計 ①								0.7	
熱	産業用蒸気		GJ			GJ			
	産業用以外の蒸気		GJ			GJ			
	温水		GJ			GJ			
	冷水		GJ			GJ			
小計 ②									
エネルギーの種類		数値 D	単位		数値 F	単位	H=D-F (千kWh)	二酸化炭素排出量 (t-CO ₂)	
電気	一般電気事業者	10361	千kWh			千kWh	10,361	7,242.3	
	その他	夜間買電		千kWh		千kWh			
		上記以外の買電		千kWh		千kWh			
	自家発電		千kWh		千kWh				
小計 ③								7,242.3	
合計 (t-CO ₂) ④=①+②+③								7,243.0	

一般電気事業者： 四国電力

【別表 2】

(平成 26 年度)

その他基地局

エネルギーの種類		エネルギー使用量			販売されたエネルギーの量			H=E-G (GJ)	二酸化炭素排出量 (t-CO ₂)
		数値 D	単位	熱量(GJ) E=D×C	数値 F	単位	熱量(GJ) G=F×C		
燃料	原油 (コンデンセートを除く)		kl			kl			
	原油のうちコンデンセート(NGL)		kl			kl			
	揮発油 (ガソリン)		kl			kl			
	ナフサ		kl			kl			
	灯油		kl			kl			
	軽油		kl			kl			
	A重油		kl			kl			
	B・C重油		kl			kl			
	石油アスファルト		t			t			
	石油コークス		t			t			
	石油ガス	液化石油ガス(LPG)		t			t		
		石油系炭化水素ガス		千m ³			千m ³		
	可燃性天然ガス	液化天然ガス(LNG)		t			t		
		その他可燃性天然ガス		千m ³			千m ³		
	石炭	原料炭		t			t		
		一般炭		t			t		
		無煙炭		t			t		
	石炭コークス		t			t			
	コールタール		t			t			
	コークス炉ガス		千m ³			千m ³			
	高炉ガス		千m ³			千m ³			
	転炉ガス		千m ³			千m ³			
	都市ガス		千m ³			千m ³			
その他の燃料									
小計 ①									
熱	産業用蒸気		GJ			GJ			
	産業用以外の蒸気		GJ			GJ			
	温水		GJ			GJ			
	冷水		GJ			GJ			
小計 ②									
エネルギーの種類		数値 D	単位		数値 F	単位	H=D-F (千kWh)	二酸化炭素排出量 (t-CO ₂)	
電気	一般電気事業者	昼間買電	0.821	千kWh		千kWh	1	0.6	
		夜間買電		千kWh		千kWh			
	その他	上記以外の買電		千kWh		千kWh			
		自家発電		千kWh		千kWh			
小計 ③								0.6	
合計 (t-CO ₂) ④=①+②+③								0.6	

一般電気事業者： 中国電力

事業所名	自動車 エネルギー使用量・台数										
	ガソリン (k1)			軽油 (k1)			LPG (t)			都市ガス(CNG) (千m ³)	
	台数(台)			台数(台)			台数(台)			台数(台)	
	総台数	軽自動車除く		総台数	軽自動車除く		総台数	軽自動車除く		総台数	軽自動車除く
ドコモ四国ビル											
3か所含む	15.231	22	19	0.696	6	6					
合計	15.231	22	19	0.70	6	6					

エネルギーの種類	エネルギー使用量			単位発熱量		二酸化炭素排出量 (t-CO ₂)
	数値 A	単位	熱量 (GJ) B=A×C	数値 C	単位	
ガソリン	15.23	k l	526.99	34.6	GJ/ k l	35.36
軽油	0.70	k l	26.24	37.7	GJ/ k l	1.80
LPG		t		50.8	GJ/t	
都市ガス(CNG)		千m ³		46.0	GJ/千m ³	
合計						37.16

※ LPGの液体密度は、一般に0.50~0.60kg/lですが、デフォルト値として0.56kg/lを用いても構いません。

(数値把握の方法)

- 燃料法 (直接、燃料使用量を把握する方法) によるもの
- 燃費法 (車両の燃費と走行距離により燃料使用量を把握する方法) によるもの
- その他の方法 ()

集計表

区分	平成 26 年度 (t-CO ₂)
エネルギー起源二酸化炭素の排出量 (別表 2)	11,837
自動車の使用に伴って発生する二酸化炭素の排出量 (別表 5)	37
エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出量	

合計	11,874

【別表1】

(平成 26 年度)

事業所名 株式会社 NTTドコモ ドコモ四国ビル

エネルギーの種類	エネルギー使用量			単位発熱量			
	数値 A	単位	熱量 (GJ) B=A×C	数値 C	単位		
燃料 及 び 熱	原油 (コンデンセートを除く。)		Kl		38.2	GJ/Kl	
	原油のうちコンデンセート (NGL)		Kl		35.3	GJ/Kl	
	揮発油 (ガソリン)		Kl		34.6	GJ/Kl	
	ナフサ		Kl		33.6	GJ/Kl	
	灯油		Kl		36.7	GJ/Kl	
	軽油	1	Kl	38	37.7	GJ/Kl	
	A重油		Kl		39.1	GJ/Kl	
	B・C重油		Kl		41.9	GJ/Kl	
	石油アスファルト		t		40.9	GJ/ t	
	石油コークス		t		29.9	GJ/ t	
	石油ガス	液化石油ガス (LPG)		t		50.8	GJ/t
		石油系炭化水素ガス		千m ³		44.9	GJ/千m ³
	可燃性天然ガス	液化天然ガス (LNG)		t		54.6	GJ/t
		その他の可燃性天然ガス		千m ³		43.5	GJ/千m ³
	石炭	原料炭		t		29.0	GJ/ t
		一般炭		t		25.7	GJ/ t
		無煙炭		t		26.9	GJ/ t
	石炭コークス		t		29.4	GJ/ t	
	コールタール		t		37.3	GJ/ t	
	コークス炉ガス		千m ³		21.1	GJ/千m ³	
	高炉ガス		千m ³		3.41	GJ/千m ³	
	転炉ガス		千m ³		8.41	GJ/千m ³	
	都市ガス		千m ³		46.0	GJ/千m ³	
	その他の燃料						
	産業用蒸気		GJ		1.02	GJ/GJ	
	産業用以外の蒸気		GJ		1.36	GJ/GJ	
	温水		GJ		1.36	GJ/GJ	
冷水		GJ		1.36	GJ/GJ		
小計 ①			38				
電気	一般電気事業者	昼間買電	3,330	千kWh	33,200	9.97	GJ/千kWh
		夜間買電	2,156	千kWh	20,008	9.28	GJ/千kWh
	その他	上記以外の買電		千kWh		9.76	GJ/千kWh
		自家発電		千kWh			
小計 ②			53,208				
合計 (GJ) ③=①+②			53,246				

原油換算エネルギー使用量 (kl) ④=③×0.0258

1,373.7468